

# 環境かわら版

No.14 (2007年9月1日発行)

## 10月は「一宮市環境月間」です!

環境月間期間中、環境センターを中心に、ごみの減量をはじめとした地球にやさしいライフスタイルの普及をめざして、催しやPR活動を行います。

### 一宮市環境センターフェア 開催

日 時：10月28日(日)午前10時～  
場 所：一宮市環境センター  
ごみ収集車乗車体験・  
リサイクル自転車抽選会 など

### 「一宮市環境月間」作品募集 入賞作品の展示

日 時：9月21日(金)～10月8日(月)  
場 所：エコハウス138 エコプラザ壁面  
市内小中学校から応募された習字・イラスト・ポスターの入賞作品を展示

### 生ごみリサイクル講座 ～電動生ごみ処理機との上手な付き合い方～

日 時：10月12日(金)午後2時～  
場 所：一宮市環境センター 3階研修室  
対 象：市内在住の方30名(先着順)

講 師：餌取秀樹氏(環境カウンセラー)  
参加費：無料  
申 込：電話・FAXで環境センターへ  
<9月3日(月)より申込受付>

・電動生ごみ処理機等を利用した、生ごみからのたい肥の作り方と、その利用方法を講義と実習で学びます。電動生ごみ処理機を利用されている方は、一次処理物をお持ちください。

## 分別されていないごみは、収集しません!

一層のごみ出しマナーの向上とルール徹底を図るため、環境月間の期間中、**分別の徹底に取り組みます**。分別されていないごみは警告シールを貼って収集しません。特に資源ごみは必ず分別して、可燃ごみ・不燃(埋立)ごみの中に混ぜないでください。

問い合わせ：清掃対策課(環境センター内)減量・リサイクルグループ

電 話：0586-45-7004 FAX：0586-45-0923

<回 覧>

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

\* 裏面もお読みください。

# 緑のカーテン

## 市内の小・中学校45校で取り組み

今年5月、この「環境かわら版」でもお知らせしたとおり、今年度は、市内45の小・中学校が「緑のカーテン」作りに取り組んでいます。

「緑のカーテン」とは、アサガオやヘチマ、ゴーヤなどのつる性植物で建物の窓辺や壁面にカーテンを作るといったものです。これにより熱エネルギーの遮断や葉の気孔からの水分蒸散により日差しを和らげてくれるだけではなく、室温の上昇も抑えられるなど地球温暖化防止の効果もあるほか、騒音の低減効果なども確認されています。

「緑のカーテン」作りは、植物を育てて観察するといった

「緑のカーテン」の生育状況



本葉やつるが成長し始めた様子



葉栗小学校(7月19日撮影)

従来の生活科・理科の教材としてだけでなく、「緑のカーテン」を施した教室と、他の教室との温度差を測定・比較して、地球温暖化防止効果を確認するなど、環境教育の実践的な教材としても活用されています。昨年度から取り組んでいる

葉栗小学校の様子の写真を、一宮市公式ホームページの中(環境部環境保全課)で掲示しています。

省エネ効果で家計にも優しい「緑のカーテン」、各家庭での取り組みが期待されます。

### 我が家の環境大臣

#### 登録者募集

#### 「エコライフの実践」



ある統計によると、約9割の人が環境に関心があり、行動したいと思つていますが、実際に行動している人は、そのうち40%しかいないそうです。

みなさんもエコライフは、難しい、面倒くさいなどと思つていませんか。

もうすでに、環境に優しい暮らしに取り組んでいる”我が家の環境大臣“の実践例は、「電気・水道を節約する」、「レジ袋を断る」、「自転車通勤する」、「ごみを正しく分別する」など、身近で家計や健康にも良いことがたくさん含まれています。

習慣とするには無理をせず、身の回りの無駄を省くこともつたない精神で、二酸化炭素排出削減とごみ減量を実践したいものです。

## 子どもと環境 シリーズ

### 親子で「いちのみやエコウォーク」

#### 奥町公園周辺で・・・

会員15人の「オリーブの会」では、活動の一環として、次代を担う子どもたちへの環境教育を兼ねて、奥町公園周辺で親子での「いちのみやエコ・ウォーク」を実施しています。

一見きれいな公園も、植え込みの中には自動車の古タイヤや、レジ袋に入ったごみなども大量に捨てられていて、参加した子どもたちからは、「ごみが余りにも多く、ちゃんとごみ箱に捨ててほしい」「ライターやマッチ・タバコの吸い殻などが落ちていて、危ない」「新品の茶わんも捨ててあり、もつたいない」「ゴルフボールや野球のボールがいくつもあり、大切に使用

子どもたちがその後、公園へ出かけてもごみに関心を持ち、また「いちのみやエコ・ウォーク」をした。などと言っているとのこと、お母さんたちからこのような報告を聞き、大変うれしいとは、代表の船橋信子さんが、一人でも多く育ってくれることを願って、引き続き環境教育にも力を入れていきたいとのことでした。



奥町公園周辺で活動



参加された「オリーブの会」の皆さん

さん。

同会は「我が家の環境大臣」登録団体で、日頃は地球温暖化防止の二酸化炭素排出削減を、主な目的に活動しています。

親子での「いちのみやエコ・ウォーク」などを通して、環境問題に対処できる子どもたちが、一人でも多く育ってくれることを願って、引き続き環境教育にも力を入れていきたいとのことでした。

### 「いちのみやエコウォーク」

#### 登録者募集

一宮市環境基本計画推進協議会では、散歩などの時に、ごみを拾いながらウォーキングする個人・団体の登録を募集しております。

5月に萩原町の「林野亀寿会」（代表 祖父江虎夫氏）が登録いただきました。

林野亀寿会では、毎月15日の朝に地区の道路や、高速道路沿いのごみを拾いながらウォーキングをしています。



萩原町の「林野亀寿会」の皆さん



詳しくは、下記  
の事務局まで。

問い合わせ：一宮市環境基本計画推進協議会事務局（環境保全課内）

TEL 45-7185 FAX 45-7187 E-mail:kankyohozen@city.ichinomiya.lg.jp

# 犬・猫のふんは、 必ず持ち帰って



道路、公園その他公共の場所にふんを  
放置する飼い主がいることによって、  
多くの方が迷惑しています。

犬及び猫を外へ連れ出す時は、ふんを  
処理するための用具を携行し、地域を汚  
さないようにしてください。

## 飼い主の方へ

自分の家の前や普段通る道路を汚されたら誰でも不快感を覚えるものです。自分がふんの被害に遭うことを想像してみてください。犬や猫のふんの処理は飼い主の役目です。清潔な環境で暮らすために、責任を持って犬や猫を飼うようにしてください。

## 猫や犬による私有地へのふん害

自宅の庭や駐車場等、私有地への猫や犬によるふん害に対しては被害者自身が侵入防止策を施すしかありません。優れた嗅覚の持ち主である猫や犬には、同じ場所で排泄をするという習性があります。すぐに効果が現れるものではありませんが、「ここは嫌なおいがするから避けたい」と猫や犬が記憶するまで根気よく繰り返し防止策を施してください。

場所を清潔にする

ふんを取り除き、水で洗い流して清潔にする。

においを消す

消臭剤でふんのにおいを消す。

忌避剤を撒く

市販の犬猫忌避剤を撒く（ホームセンター等で購入できます）。

## ふん害防止啓発用看板

市ではふん害を防止するための啓発用看板を無料で貸出しております。

【貸出場所】 環境センター3F 清掃対策課・尾西清掃事業所・一宮庁舎 1F 市民課・  
尾西庁舎 1F 窓口課又は2F 総務管理課・木曾川庁舎 1F 窓口課・各出張所